

# テクノロジー

kagaku@asahi.com

グローバル化が進むと、ノーベル賞級の研究は生まれにくくなる——。筑波大学の大庭良介准教授（科学計量学）らがそんな研究結果を発表した。

大庭さんは、生命科学・医学の分野で、1971年から2020年までに出版された、53カ国の研究者の論文約2260万本を対象に分析。論文の中で、新しく出てきて、研究を活性化させた「萌芽的キーワード」の数や、その後多くの人に研究されるようになつた影響力の大きさなどを調べた。

筑波大、論文のキーワード分析

## 情報共有進み 研究が画一化



ノルウェー・オスロのノーベル研究所に飾られているノーベル賞のメダルの拡大版

## 「ノーベル賞級」グローバル化で鈍る？

ノーベル賞級の研究は生まれにくくなる——。筑波大学の大庭良介准教授（科学計量学）らがそんな研究結果を発表した。

大庭さんは、生命科学・医学の分野で、1971年から2020年までに出版された、53カ国の研究者の論文約2260万本を対象に分析。論文の中で、新しく出てきて、研究を活性化させた「萌芽的キーワード」の数や、その後多くの人に研究されるようになつた影響力の大きさなどを調べた。



ノルウェー・オスロのノーベル研究所に飾られているノーベル賞のメダルの拡大版

# 「空飛ぶクルマ」商用運航は遠く

## 世界で開発競争

次世代の乗り物として注目が集まる「空飛ぶクルマ」。各企業が開発競争にのぎを削り、これまでに一千機種以上が検討されてきた。ただ、国内を見渡すと、人を乗せて運ぶ商用運航への道のりはまだ険しい。

（川原千夏子）

ゆっくりと飛び立った機体は、10㍍ほど高いまで浮上して東京の空を体感する」をテーマにしたイベント「SUSHI Tech Tokyo」でテストフライトを披露した。

使われた機体は、米リフトエアクラフト社製の「ヘクサ」。18枚のプロペラが円形に配置され、その駆動部の下にあるかのよなスペースにパイロットが座る。離着陸用のボタンがついた1本のハンドル。東京都が5月、「2050年の東京を実感する」をテーマにしたイベント「SUSHI Tech Tokyo」でテストフライトを披露した。

50年東京を体感する」を50年東京を体感する」を

TEMAにしたイベント「SUSHI Tech Tokyo」でテストフライトを披露した。

50年東京を体感する」を

TEMAにしたイベント「SUSHI Tech Tokyo」でテストフライトを披露した。

50年東京を体感する」を</